

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

8月15日(月)

1千年の伝統脈々と

竹生島宝厳寺最大の伝統行事「蓮華会」が行われました。蓮華会は、貞元2年(977年)円融天皇の勅命により始まった1千年以上の歴史ある行事です。毎年、宝厳寺の辯才天を自宅でおまつりする頭人が選定され、蓮華会は8月15日に宝厳寺へ辯才天を返す際に行われます。頭人には、古くは天皇や豪族、近世では地域の有力者や信仰心の高い人が選ばれていますが、戦国武将の浅井久政、長政も務めていたとされています。



8月16日(火)

踊りで五穀豊穡祈願

西浅井町集福寺で「ちゃんちゃこ祭り」が行われました。江戸時代から伝わる五穀豊穡を祈る祭りで、鉦と太鼓に合わせて舞う踊りが奉納されるほか、華やかな衣装を着た花笠や武者行列も行われます。踊りには、鉦と太鼓役に大人2人ずつ、棒振り役は小学生2人。本番にむけ5月から稽古に励みました。

今年は3年ぶりの開催で、市内外からの見物客もあり、大いに賑わいました。

8月17日(水)

みずすまし30周年おめでとうギョーざいます

市内27小学校の児童と指導教諭からなる長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」結成30周年を記念し、浅井文化ホールで「交流会・講演会」が行われ、市内の小学生ら410人が来場しました。

午前の交流会では、市内8校の隊員からの河川調査などの活動発表、午後はテレビでも活躍中のさかなクンによる講演会があり、環境への関心がより高まったようでした。



※この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。



8月20日(土)

地域ぐるみの手づくり縁日

保健センター西浅井分室の駐車場で「にしあざい縁日」が開かれました。地域の活性化と交流を目的に行われているもので、今年で5回目。子どもたちの元気なダンスや、地元グループによるフラダンスが披露され、大きな声援が送られました。

たこ焼きや焼き鳥、スーパーボールすくいなどの模擬店も充実し、訪れた人々を楽しませました。地元中学生がボランティアで運営に加わるなど、地域ぐるみの素晴らしい縁日でした。

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。市公式Facebookページでもさらに詳しくみることができます。

<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews>

「長浜 ほっとにゅーす」 検索

9月1日(木)

野菜で飾られた神輿が渡御

湖北町速水の伊豆神社で「八朔大祭」が行われ、野菜等で飾りつけられた「青物神輿」が5年ぶりに集落内を巡行しました。

大祭は、仲哀天皇が遠征時に伊豆神社で戦勝を祈願、八朔(旧暦の8月1日)に戦勝を報告したのが発祥と伝えられています。

穀物、野菜、果物、乾物、草花等約80種を使って飾り付けた重さ約500キロの神輿を、およそ20人の若者たちが「わっしょい! わっしょい!」と声をあげながら勇壮に担ぎました。



9月3日(土)

熱い舞いが夏を締めくくる

浅井文化スポーツ公園で「長浜あざいあっぱれ祭り」が開かれました。17回目の開催となる今年、過去最多となる県内外から26チーム、およそ800人が出場しました。

鮮やかな衣装を身にまとった踊り手たちの迫力ある踊りに会場は大興奮! どのチームにも惜しめない声援が送られました。

また、全国のご当地グルメが味わえる「グルメカーフェスティバル」も開かれ、会場は1日中盛り上がりを見せました。

9月4日(日)

静けさの中に感じる力強さ

長浜市民弓道場で「第38回秀吉長浜弓道大会」が開かれました。一般男子、一般女子、高校男子、高校女子の4部門約170人が出場、開会式から緊張感のある厳かな雰囲気の中で始まりました。

競技では、日頃の練習成果を発揮しようと表情は真剣そのもの。一点を見つめて集中力を高め、力強く弓を引いて矢を放つ。放った矢の結果に一喜一憂することなく、弓道にある静と動、姿勢や佇まいは実に美しいものでした。



9月5日(月)

全力でプレーします!

10月15日(土)から4日間、長崎で開かれる「全国健康福祉祭(ねりんピック)」に、本市から滋賀県代表として出場する選手の壮行会が市役所で開かれました。

今大会には、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道の5種目に12人が出場します。

代表でありさつに立ったゲートボールの奥澤さんは「市スポーツ振興のため頑張ります」と抱負を語りました。